

2009年1月30日

受益者のみなさまへ

ビー・エヌ・ピー・パリバ アセットマネジメント株式会社

ビー・エヌ・ピー・パリバの格付けの変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、弊社の実質的な親会社であるビー・エヌ・ピー・パリバ（以下、BNP パリバ）の格付けに関して、スタンダード&プアーズより、2009年1月28日付けで、「AA+」から「AA」へ格下げしたとの発表がございました。

スタンダード&プアーズは声明で「今回の格下げは、現在の市場の混乱や、急激な後退局面に入っている世界経済サイクルが、BNP パリバの財務基盤に多大な悪影響を与えていることを反映している。2008年の最終利益が30億ユーロと2007年の70億ユーロ超の水準から大幅に減少する見通しで、2009年も限定的な回復にとどまるとみられることから、同社の収益性は大幅に低下するとスタンダード&プアーズはみている。ただし、同社は引続き、厳しい事業環境を大半の同業他社よりうまく乗り切っていくとみられる。」としています。

弊社と致しましては、今回の格下げが、弊社が運用しております「BNP パリバ・ブラジル・ファンド（株式型）」および「BNP パリバ・ブラジル・ファンド（バランス型）」の運用ならびに、弊社および弊社グループの経営に与える影響はないと考えております。

今後とも市場状況を鑑み、運用を行ってまいり所存でございますので、引続きご愛顧賜りますよう、お願い申し申し上げます。

敬具